

人権

「KDDI 行動指針（基本原則）」に則り、人権を尊重した企業経営を目指してさまざまな取り組みを行っています。



▶ 人権に対する取り組み

すべての事業活動における人権と個性の尊重を定めた「KDDI 行動指針」のもと、社員一人ひとりの人権とプライバシーを尊重し、多様な価値観を認め合う職場づくりを目指しています。

人権に対する取り組み

人権に対する考え方

KDDI は、「KDDI 行動指針」において、すべての事業活動における人権と個性の尊重を基本原則と定めています。社員一人ひとりの多様な価値観を認め合い、性別・年齢・人種・出身・宗教・障がいの有無などに関わる差別的な言動や、暴力、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどの人格を無視した言動を行わないことを明示しています。

KDDI 行動指針では、

- ・ 基本的人権の尊重、人権の平等を基本にしています。
- ・ 国内外の官公庁、国内外の政府系企業との関わりについて、もたれ合いや癒着ととられるような行動（贈賄、接待、違法な政治献金等）を禁止しています。



「KDDI 行動指針ハンドブック」

□ KDDI 行動指針(基本原則)

啓発活動

KDDI は、基本理念である「KDDI フィロソフィ」をもとに国内グループ会社においても行動指針を策定し、グループ全体で考え方を共有し、啓発活動を行っています。また、セクシャル・ハラスメントをはじめとする各種ハラスメントの防止についても「ハラスメント防止ガイドブック」を策定・配布し、イントラネットに情報を掲載するなど、啓発に努めています。相談窓口として、社外の専門カウンセラーによる「セクハラホットライン」、社内カウンセラーによる「社員相談センター」を人事部に設置しています。なお、相談者・申告者については、すべてのステークホルダーを対象とし、また申告者本人に不利益となることがないように、守秘義務を徹底しています。

▶ 企業倫理ヘルプライン

人権教育

- ▶ CSR に関するリスクマネジメント国際会議への協賛・参加
- ▶ LGBT への対応
- ▶ 社会対話（健全な労使関係の構築）